



4月には待望の子どもセンター2号館「つるっこ」がオープン

1のなかつた相原地区に、10月の開所を目指して、ヘルパーステーション等を併設した高齢者住宅サービスセンターの建設を行っています。更に引き続き、成瀬地区、小川

また、ゆとりと潤いのある暮らしは誰もが願うところです。健康づくりや文化教養に関しまして、力を入れて参ります。今年度は、多摩地区26市2町1村が参加する市町村総合体育大会が、町田市をはじめとする第1ブロック5市で開催され、町田市では、陸上、ソフトテニス、水泳、弓道、軟式野球の5種目が行われます。

市民の文学活動の拠点として整備を進めてきました(仮称)町田市立文学館は、既存施設の施工不良のため、残念ながら当初の予定通りに開館することは困難となりましたが、今年度中の竣工に向け、鋭意進めて参ります。

また、相模原市と進めてきました「町田・相模原業務核都市」の基本構想が昨年3月にまとまり、東京都並びに神奈川県から発表されました。この中で、整備を進める中核的民間施設として(仮称)コンベンションホールが盛り込まれています。今後は、この検討をして参りたいと存じます。



昨年、北部丘陵地域の豊かな自然環境保全のため丘陵地約36ヘクタールを買収しました

町田市の特性を踏まえて交通の利便性や機能を高め、良好な住環境を支える都市機能を充実させるため、昨年から交通マスタープランを策定しています。これと並行して、バス路線の空白地域にバスを運行する「地域コミュニティバス運行事業」の実験運行が、この3月から行われます。モデル地区となる玉川学園地区は、谷間を鉄道と都市計画道路が走っています。が、両側の山坂に沿って、住宅地が広がり、住民は通勤通学、買い物などで、毎日きつい坂道の上下

ない二一トと呼ばれる若者の増加が問題となっています。若い世代に、仕事を通じて社会参加する意識が薄れていくことが気になります。そこで9月、中学生職場体験事業を市立全中学校で一斉に実施します。この事業は、市内外の事業所のご協力をいただきながら、中学生が、人々の働く様子から自分なりの生き方を見つけることができるように、また、将来直面するであろう様々な課題に、柔軟に、たくましく対応できる「生きる力」を身に付けることを狙っています。

東京都における小中学校のインターネット整備は、全国的に見ると遅れているといわれます。そこで、市立小中学校全校を対象に、高速・大容量の快適な学校LANの整備を進め、学校間のネットワークの充実を図ります。

高齢社会総合計画における重点施策の一つとして木曽森野地区に建設を進めてきました高齢者福祉施設「コモンス」が完成し、4月に開所します。この施設は、特別養護老人ホームを中核とする各種サービスの提供と、ボランティア活動や地域交流活動などの地域ニーズに対応する役割も担います。これまで、高齢者住宅サービスセンター

また、ゆとりと潤いのある暮らしは誰もが願うところです。健康づくりや文化教養に関しまして、力を入れて参ります。今年度は、多摩地区26市2町1村が参加する市町村総合体育大会が、町田市をはじめとする第1ブロック5市で開催され、町田市では、陸上、ソフトテニス、水泳、弓道、軟式野球の5種目が行われます。

市民の文学活動の拠点として整備を進めてきました(仮称)町田市立文学館は、既存施設の施工不良のため、残念ながら当初の予定通りに開館することは困難となりましたが、今年度中の竣工に向け、鋭意進めて参ります。

また、相模原市と進めてきました「町田・相模原業務核都市」の基本構想が昨年3月にまとまり、東京都並びに神奈川県から発表されました。この中で、整備を進める中核的民間施設として(仮称)コンベンションホールが盛り込まれています。今後は、この検討をして参りたいと存じます。

町田市の貴重な緑を、自然を、次代に引き継ぐことは重要な課題であります。今後、更なる緑地保全のため、新たに、市街化区域内にある緑地の保全に向けた制度づくりを進めて参ります。

また、「身近な街づくりは住民の手で」を目標に、住みよい街づくり条例が施行されて1年が経過します。これは、市民・事業者・行政が協働して地域の街づくりを進めるもので、現在、3つの団体が登録し、先進事例の視察などを行いながら、地区街づくりプランの作成に取り組んでいます。このほか登録はしていませんが、自主的に取り組んでいる団体が3団体あります。今後、住民による「住みよい街」「住み続けたい街」づくりについて積極的に支援して参ります。

「2面から続く」

安心と潤いのある生活を指して

町田市民病院の第2・第3期増改築工事が始まります



「2面から続く」

「2面から続く」

「2面から続く」

「2面から続く」